

060748

動作確認チェックシート

検査日	2025年 4月 17日	(機械の仕様・規格を記入する。)			
商品名	カット面検査装置	電源電圧	単相100V,5A	ゴニオメータ	-10~60°
型式	2991F2	周波数	50/60Hz	X線検出器	S-PC
メーカー名	リガク	大きさ(W×D×H)	1500×870×1930mm	X線計数感度	20,000cps
機械Ser.No	CD2893N	X線管	Cu対陰極		
製造年月	2006年3月	X線定格出力	30kV ^レ -7,5mA		

チェック項目	主な確認内容	チェック(○×)
1 外観	筐体・キャスター・継手・スイッチ等に著しいキズ・破損・動作不良はないか。	○
2 起動動作	POWER ON時に異常(異音・異臭・漏電・暴走・アラーム表示等)はないか。	○
3 SW設定	SWの機能は正常か。	○
4 保管・出荷準備	水抜き・ビス締め・清掃・入庫元に関するシール等を取り除く。	○
5 確認シール	動作確認済シールを貼る	○
6 データバックアップ	PLC (未対象) TP (未対象) BT交換 (未対象)	

備考(動作確認内容・不具合内容等) 機器の仕様・規格を満たす事を確認する。

- 本機は検査部が2つある構造だが、『ウエハ専用として、X線発生・検出部全体を筐体で囲み、表示パネルを天井に設置、表示パネルをPCと接続、X線発生部のシャッターはスイッチ操作に改造』されており、取扱説明書と若干異なる。筐体側壁の一部分に鉛板を設置し、X線発生側、検出側の防X線プロテクタ、防X線板は取付けられていない。
- 接続PC1台は正常立上げ可(パスワードamp1)。但し前ユーザのネットワーク内で使用したアプリしかなく、利用不可。もう1台もパスワード不明で立上げ不可。
- PCは無視し、本体の動作確認を実施した(次頁以降参照)
X線発生及びカウンタ及びゴニオメータの動作に問題はなかった。



取扱説明書(有)

修理・改造履歴

年月日	修理・改造記録	作業者

SHIRASAGI入力

(備考欄コメント)

[責任者]

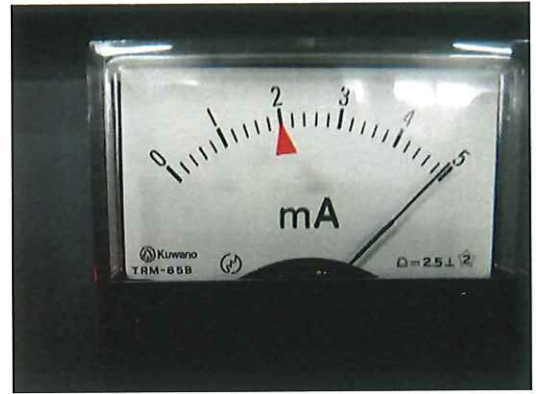
動作(OK) 作業工数[11H]
検査担当者[野沢]

2025年12月26日でメーカサポート終了予定



(1)X線発生

エージング実施後、出力Maxにした時、4.9mAを確認。劣化が認められず問題なし。



(2)ゴニオメータ

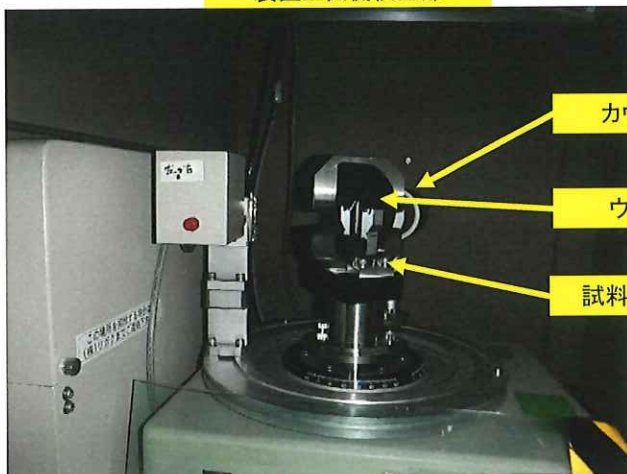
ハンドルを回すことで、試料ホルダが回転(-10~60°)。表示パネルのデジタル表示が追従して数値変化。リセットスイッチでゼロ点セットできた。装置正面側検査部、背面側検査部共に問題なし。



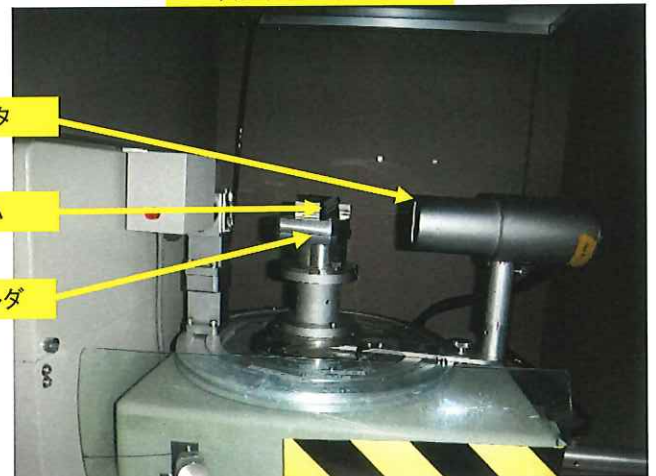
(3)カウンタ

装置にセットされていた試料ホルダにウエハ破片をセットし確認。

装置正面側検査部



装置背面側検査部



メータゼロ調整後、X線出力Max(4.9mA)で試料ホルダを回転させたが、詳細なセット方法や調整等が不明なため、カウンタ検知がうまくできなかった。

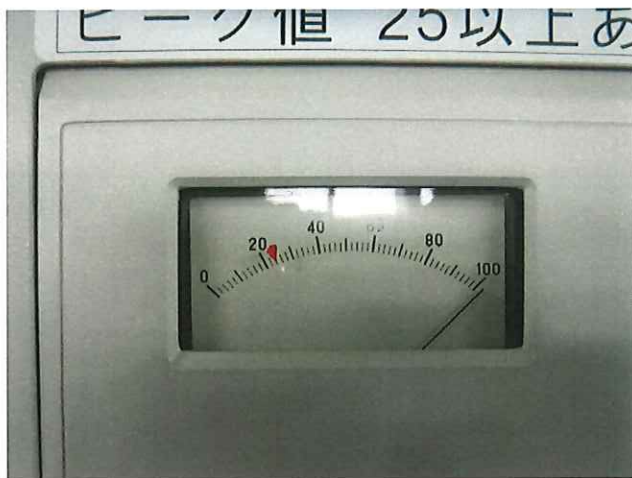


試料ホルダを取外し、X線発生部スリットとカウンタとの軸を合わせて確認。
X線出力0.4mAで、カウンタのメータは振り切れた。正常に検知できていると考える。

装置正面側検査部

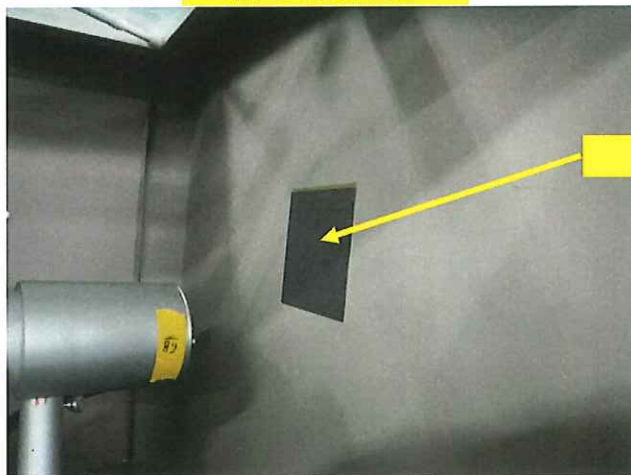


装置背面側検査部

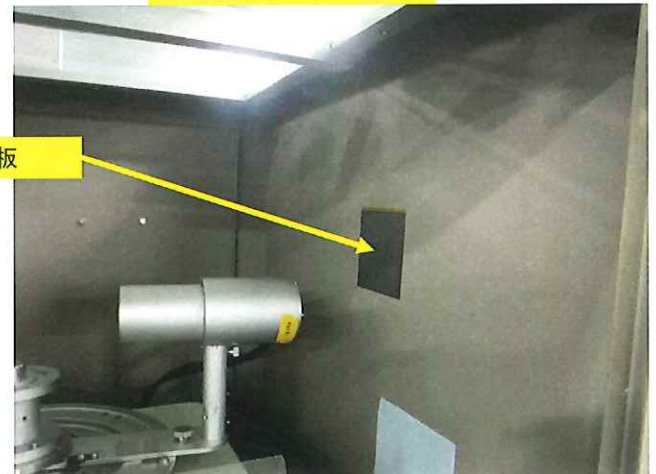


(4)その他

装置正面側検査部



装置背面側検査部



鉛板